

たいわん へいとうけん り こうきよう
台湾 屏東県 里港郷 親善訪問レポート

故 山中 貞則 氏が1941年に台湾の里港国民小学校で教鞭を執られたのをきっかけに、里港郷と令和5年5月に国際交流促進覚書（MOU）※を締結してから、相互交流をしています。



里港郷の社会、産業、教育、文化などの実情及び相互交流を発展させるための施策を調査研究するため、令和7年1月14～16日の3日間、里港郷を訪問しました。

里港郷の議会を訪問し、町長に当たる徐國銘郷長や議長に当たる林綿顯主席から、産業、教育、文化、観光等のあらゆる分野での継続的な交流を図っていききたいと挨拶がありました。

屏東県里港郷との交流

令和5年5月	国際交流促進覚書（MOU）締結
令和5年11月	里港郷訪問団、曾於市へ
令和6年1月	曾於市議会親善訪問調査団、里港郷へ
令和6年10月	里港郷訪問団、曾於市へ
令和7年1月	曾於市議会親善訪問調査団、里港郷へ

※国際交流促進覚書（MOU）とは、当事者間の合意内容を書面化したもので、法的拘束力はなく、一般的に「友好都市協定」などの一歩手前の段階と認識されるもの



ナツメの視察



里港郷は台湾南部にあり、面積は約69km²、人口約25,000人です。高温多湿な気候が特徴的で、特産品は、バナナ、スターフルーツ、バラ、キュウリ、レンブ、ナツメ、手長エビなどです。

今回は、「ナツメ」や「レンブ」の果樹園を視察しました。防疫上、日本への輸出はなく、今後の課題とのことでした。

鹿児島空港から台湾への定期便は3往復になり、更なる利便性の向上に期待が高まります。今後、本市と里港郷の交流が民間レベルまで深まり、地域振興や人材育成に向けた国際交流の促進が大いに期待されます。